

GPIO(IEEE-488)ケーブル

TransEra 社製 IEEE-488 ケーブルは、静電容量を IEEE 規格の 150pF/m より低く抑え、放射性の排出を減少させるために、二重にシールドされています。これらのケーブル製品は、常に IEEE 規格の最大データ転送速度を保てます。低放射に配慮した設計のため、これらの製品を利用するシステムは、MIL-STD-461A, VDE 0871, および VDE0875 等の基準にも対応できます。

電気的な属性だけでなく、耐久性にも富んでいます。シールド保護されたコネクタはニッケルめっきされ、接合部分をバットシーム(butt seam)にすることで腐食から守り、耐性を高めています。

コネクタ部に2つある留めねじには、ISO 規格のメートル系ねじ M3.5 × 0.6 か、それと同等の O.M.F.S ねじ 3.5PO.6 が使われており、複数のケーブルが集中するような環境でも信頼性と接続性を保証します。

ケーブルのコネクタ部は、狭いスペースにも対応できるように、50ミリ(2インチ)の曲げ半径を持っています。ケーブル長は 2mと4m の2種類です。

GPIO ケーブル

TransEra 社製 GPIO ケーブルは、TransEra 社シリーズ 600/650 と HP 社製 98622A、両方の GPIO インターフェース製品に対応しています。

ケーブルの一端には、シールドされた50ピンの対応コネクタがアタッチされています。

もう一端は、カードボード用のカバー

に入ったオープンワイヤになっており、個別にインターフェースにも、圧接型コネクタにも繋げるようになっています。



二重シールドにより、EMI(電磁界障害)や RFI(電波干渉)を抑えています。AWG#28 のツイステッドペアケーブルで構成されているため、近接導体間の漏話を減少させます。さらに沿え線(drain wire)も取り入れて、優れた接地パスを提供します。柔軟性に富むコンパクトな構成なので、パッキングする際にも手間がありません。

コネクタケースは錫めっきされているため接地性に優れ、EMI/RFI の抑制が必要な環境での I/O アプリケーションに向けた設計となっています。

ニッケル下地に金めっき処理した beryllium-copper の接点部が 2.16mm(.85 インチ)の中央に位置しています。コネクタの留めねじは、ISO 規格のメートル系ねじ M3.5 × 0.6-6G またはそれと同等の O.M.F.S ねじ 3.5PO.6 が使われており、複数のケーブルが集中的に GPIO インターフェースに接続するような観光でも信頼性と接続性を保証します。

製品概要:	製品コード
IEEE-488 ケーブル (2m) H-AC0002
IEEE-488 ケーブル (4m) H-AC0004
GPIO ケーブル (10 フィート) H-AC0010